

◆多摩市国土強靱化地域計画(原案) 概要版

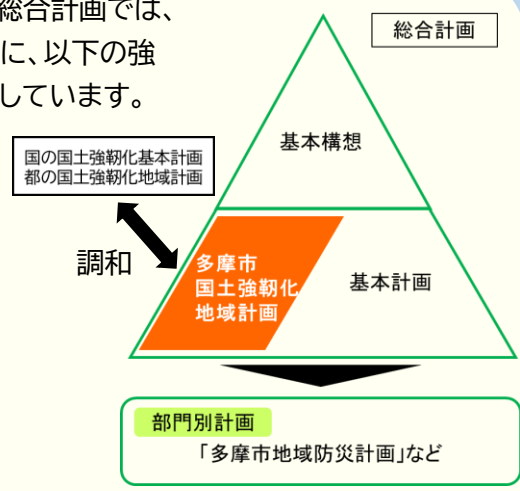
計画改定の趣旨(本編 P1)

多摩市では、令和3年に多摩市国土強靱化地域計画を策定し、各種の施策を進めてきたところですが、「地球沸騰化」の中で懸念される豪雨等による土砂災害や洪水、首都直下地震等の巨大地震の発生などを想定し、今後も国土強靱化施策をより着実に推進するため、同計画を改定します。

強靱化を進めるための基本的な考え方(本編 P4)

令和5年11月に策定した第六次多摩市総合計画では、「分野横断的に取り組むべき重点テーマ」に、以下の強靱化のための4つの基本的な考え方を示しています。

- いかなる災害が発生しようとも、
- ① 人命の保護が最大限図られること
 - ② まちの重要な機能が致命的な障害を受けず、維持されること
 - ③ 市民の財産及び公共施設に係る被害を最小限にすること
 - ④ 迅速に復旧・復興すること



上記の基本的な考え方のもと、強靱化における推進目標の設定や脆弱性評価等を通じ、第六次多摩市総合計画と一体的に強靱化に向けた施策・取組みを定めることで、多摩市における国土強靱化にかかる各個別計画の指針とするものです。

強靱化における推進目標(本編 P5)

「強靱化を進めるための基本的な考え方」を基に、事前に備えるべき6つの推進目標を設定します。これにより、あらゆる大規模自然災害に対するリスクシナリオ(起きてはならない最悪の事態)を設定し、推進目標の達成に向けて取り組むべき施策を整理します。

1 人命の保護が最大限図られる	4 経済活動を機能不全に陥らせない
2 救助・救急・医療活動が迅速に行われるとともに、被災者の関連死を最大限防ぐ	5 情報通信サービス、電気、ガス、上下水道等の被害を最小限に留めるとともに、これらの早期復旧を図る
3 必要不可欠な行政機能を確保する	6 地域社会・経済が迅速に再建・回復できる条件を整備する

計画の推進(本編 P15)

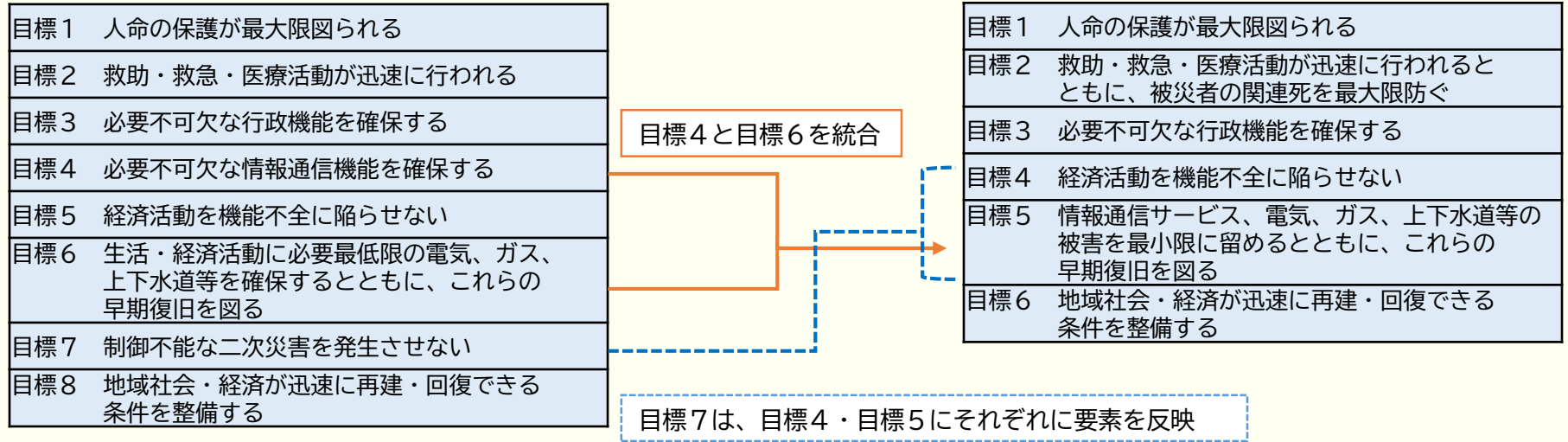
本計画の推進にあたっては、目標を持って取り組むよう努め、強靱化に向けた施策の進捗状況を把握・検証することで進行管理を行います。施策の進行管理については、第六次多摩市総合計画の評価と合わせて行い、限られた財源の中でも効率的・効果的に国土強靱化を推進するため、取組みの重点化を図ります。

▶裏面には6つの推進目標を達成するための主な取組みを掲載しています。

主な変更点

■ 強靱化における推進目標について

令和5年7月の国の国土強靱化基本計画の改定に併せて、8つの推進目標を以下の通り6つに整理しました。



■ 脆弱性評価結果(本編 P16～)について

脆弱性評価結果についても、改定された国の国土強靱化基本計画を踏まえ、デジタル技術の活用や災害関連死への対策などを考慮し、更新しました。

▼追加した主な項目▼

目標1 人命の保護が最大限図られる

- 防災DX等、先進技術の活用
国のクラウド型被災者支援システムの導入検討と避難所等における防災DXを推進していく必要がある。

目標2 救助・救急・医療活動が迅速に行われるとともに、被災者の関連死を最大限防ぐ

- 災害関連死の抑制にも資する避難生活の環境改善
災害関連死を抑制していくためには、避難者の健康管理のため、保健活動班による巡回健康相談等を円滑に行う必要がある。さらには、女性や要配慮者等の視点を踏まえた避難所運営体制（トイレ対策も含む）を構築する必要がある。自助・共助にくわえ、公助においても食料、生活必需品や感染症対策に必要な物資等を備蓄するとともに、調達体制を確保する必要がある。

目標5 情報通信サービス、電気、ガス、上下水道等の被害を最小限に留めるとともに、これらの早期復旧を図る

- ドローンによる被災状況の収集
発災直後の情報収集能力を向上させるためドローンの活用を行っていく必要がある。